

### 平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月7日 上場取引所 JQ

上場会社名 滝沢ハム株式会社

コード番号

URL <a href="http://www.takizawaham.co.jp">http://www.takizawaham.co.jp</a>

(役職名) 代表取締役社長 代表者 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長

平成20年11月13日 四半期報告書提出予定日

(氏名) 瀧澤 太郎 (氏名) 山口 輝

TFI 0282-23-5640

(百万円未満切捨て)

#### 1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日~平成20年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	i	営業利	益	経常利	益	四半期純	利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	16,300	_	9	_	△14	_	△131	_
20年3月期第2四半期	17,087	2.4	△141	_	△154	_	△338	_

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利 益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	△12.82	_
20年3月期第2四半期	△32.99	_

#### (2) 連結財政状能

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	13,004	1,892	14.5	184.22
20年3月期	13,370	2,041	15.3	198.69

(参考) 自己資本

21年3月期第2四半期 1,891百万円

20年3月期 2,040百万円

#### 2 配当の状況

	1株当たり配当金				
(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	_	1.00	_	0.00	1.00
21年3月期	_	0.00			
21年3月期(予想)			_	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

#### 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日~平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

)

		売上高	i	営業利	益	経常利	益	当期純和	引益	1株当たり当期純 利益
ſ		百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
L	通期	33,100	△3.0	150	_	60	_	△90	_	△8.76

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

— 社(社名

除外 — 社(社名

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3頁【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの) ① 会計基準等の改正に伴う変更 有

  - ② ①以外の変更
  - (注) 詳細は、4頁【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

### (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 10,510,000株 20年3月期 10.510.000株 ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 240,033株 20年3月期 239,238株 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 10,270,093株 20年3月期第2四半期 10,270,762株

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.平成20年5月20日に公表いたしました連結業績予想を平成20年10月31日に修正しております。 2.上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。 なお、上記予想に関する事項は、3頁【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

3.当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

#### 【定性的情報·財務諸表等】

#### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、原油・穀物等の資源価格高騰が企業収益や個人消費を圧迫する中、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融危機により国内景気の減速感が強まってまいりました。

当業界におきましても、ハム・ソーセージの主要原料であります輸入豚肉や包装資材等のコスト上昇要因に加え、食品の安全・安心に関する諸問題が相次いで発生し経営環境は極めて厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社グループは、生産効率を高めるため不採算商品の統廃合、製造コストの削減に努め生産コストの削減に取り組んでまいりました。営業面におきましては、原料価格の高騰に対応するため商品価格の改定及び商品入れ替え等を行い収益の改善に取り組みました。

しかしながら、売上高は食肉加工品について不採算商品の絞り込みや店頭での小売価格の低下及び取引 先のブランド統一化等商品政策変更の影響により減少し、当第2四半期累計期間の売上高は、163億円 (前年同期比4.6%減)となりました。

損益面につきましては、前期に実施いたしました工場閉鎖等の効果により製造経費を中心に計画どおりのコスト削減を実施することができましたが、食肉加工品の売上減少に伴い売上総利益が減少したため営業利益9百万円(前年同期1億41百万円の営業損失)、経常損失14百万円(前年同期1億54百万円の経常損失)の計上となりました。

また、当期純損益につきましては、営業利益、経常利益の減少要因に加えて特別損失として固定資産除却損23百万円を計上したことや繰延税金資産の取崩し86百万円を行ったことにより、四半期純損益は1億31百万円の四半期純損失(前年同期3億38百万円の中間純損失)計上となりました。

部門別の概況は次のとおりであります。

### (食肉加工品部門)

食肉加工品部門につきましては、ハム・ソーセージは不採算商品の絞り込みや店頭での小売価格の低下及び取引先のブランド統一化等商品政策変更の影響により減少いたしました。この結果、この部門の売上高は、55億81百万円(前年同期比10.8%減)となりました。

### (惣菜その他加工品部門)

惣菜その他加工品部門につきましては、ハンバーグ類は好調に推移いたしましたがパン粉付商品や味付け肉等の売上が低調に推移しましたことから、この部門の売上高は22億66百万円(前年同期比4.0%減)となりました。

#### (食肉部門)

食肉部門につきましては、国産豚肉の売上は好調に推移しましたが、国産牛肉は和牛を中心に消費者ニーズの変化により需要が低迷し減少したため、この部門の売上高は83億54百万円(前年同期比0.2%減)となりました。

#### (その他部門)

その他部門につきましては、外食部門及び物流部門の売上がやや増加したため、この部門の売上高は、98百万円(前年同期比1.1%増)となりました。

#### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産、負債、純資産等の状況

当第2四半期末における資産は、前連結会計年度末に比べ3億65百万円減少し130億4百万円となりました。これは主にたな卸資産の減少によるものであります。

当第2四半期末における負債は、前連結会計年度末に比べ2億16百万円減少し111億11百万円となりました。これは主に未払金及び買掛金の減少によるものであります。

当第2四半期末における純資産は前連結会計年度末に比べ1億49百万円減少し18億92百万円となりました。これは主に四半期純損失計上により利益剰余金が減少したことによるものであります。

(2) 連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、主に営業活動によるキャッシュ・フローの増加により、前連結会計年度に比べ3億72百万円増加し11億99百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、4億57百万円(前年同期2億70百万円の支出)となりました。これは、主にたな卸資産及び売上債権の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、1億2百万円(前年同期比53.7%減)となりました。これは主に有 形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は、16百万円(前年同期比97.7%減)となりました。これは主に短期借入金の純減額及び長期借入金の返済による支出がありましたが、長期借入金の調達による収入により相殺されたものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績の見通しにつきましては、世界的な金融不安により株価の下落等、景気後退局面が強まり個人消費が悪化して厳しい経営環境が続くものと考えられます。当社グループは、業績回復のため、ハム・ソーセージの新商品導入及び年末ギフト商品の販売強化により売上の回復を図ってまいります。更に、ローコストオペレーションを徹底して行い製造コスト及び販売コストの一層の削減に取り組んでまいります。業績予想の詳細につきましては、平成20年10月31日付「業績予想の修正及び繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ」をご参照ください。

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
  - ① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる ため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、または、一時 差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績 予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっており ます。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
  - ① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務 諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、 「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
  - ② 当連結会計年度より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切り下げの方法)に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合と比べて、営業利益が1,252千円減少し、経常損失及び税金等調整前四半期純損失が1,252千円それぞれ増加しております。

#### (追加情報)

当社及び連結子会社は、減価償却資産の耐用年数等に関する平成20年度法人税法の改正に伴い、 当連結会計年度より、改正後の法人税法に基づく減価償却方法を適用しております。

この結果、従来の方法によった場合と比べて、営業利益が4,932千円増加し、経常損失及び税金 等調整前四半期純損失が4,932千円それぞれ減少しております。

1, 164, 904

6, 235, 886

13,004,361

1, 190, 452

6, 415, 576

13, 370, 355

### 5. 【四半期連結財務諸表】

### (1) 【四半期連結貸借対照表】

投資その他の資産合計

固定資産合計

資産合計

(単位:千円) 前連結会計年度末に係る 当第2四半期連結会計期間末 要約連結貸借対照表 (平成20年9月30日) (平成20年3月31日) 資産の部 流動資産 現金及び預金 1, 330, 453 956, 343 受取手形及び売掛金 2,888,534 3, 108, 266 商品 1, 212, 446 1, 430, 059 製品 870,808 906, 409 原材料 227, 404 248, 740 仕掛品 128, 477 138,076 9, 146 7, 113 貯蔵品 繰延税金資産 42,646 129, 503 その他 71, 255 39,835 貸倒引当金  $\triangle 10,664$  $\triangle 11,600$ 流動資産合計 6, 768, 475 6, 954, 779 固定資産 有形固定資産 建物及び構築物 (純額) 2,004,306 2, 128, 187 機械装置及び運搬具(純額) 314, 483 342, 561 土地 2, 663, 372 2,664,008 78,699 その他 (純額) 77, 171 有形固定資産合計 5, 059, 333 5, 213, 456 無形固定資產 11,667 11,648 投資その他の資産 投資有価証券 906, 409 918, 714 繰延税金資産 9, 293 9, 265 その他 273, 556 293, 357 貸倒引当金  $\triangle 24,354$ △30, 885

# 滝沢八ム(株) (2293) 平成21年3月期 第2四半期決算短信

(単位:千円)

		(単位:十円)
	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2, 426, 922	2, 509, 200
短期借入金	4, 715, 011	4, 750, 056
未払法人税等	19, 416	26, 670
賞与引当金	70, 407	100, 084
その他	778, 893	864, 070
流動負債合計	8, 010, 650	8, 250, 081
固定負債		
社債	0	40,000
長期借入金	1, 902, 346	1, 810, 276
長期未払金	441, 802	442, 403
退職給付引当金	648, 340	672, 485
役員退職慰労引当金	73, 479	72, 950
負ののれん	34, 075	38, 942
その他	1, 173	1, 601
固定負債合計	3, 101, 217	3, 078, 658
負債合計	11, 111, 867	11, 328, 739
純資産の部		
株主資本		
資本金	1, 080, 500	1, 080, 500
資本剰余金	804, 045	824, 564
利益剰余金	73, 158	184, 344
自己株式	△3,877	△3, 571
株主資本合計	1, 953, 827	2, 085, 836
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△61, 866	△45, 184
評価・換算差額等合計	△61,866	△45, 184
少数株主持分	533	963
純資産合計	1, 892, 493	2, 041, 615
負債純資産合計	13, 004, 361	13, 370, 355
71 15 17 15 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17		10, 010, 000

# (2) 【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

【第 2 四十朔建和系訂 朔 间】	
	(単位:千円)
	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	16, 300, 240
売上原価	13, 694, 656
売上総利益	2, 605, 583
販売費及び一般管理費	2, 596, 562
営業利益	9, 021
営業外収益	
受取利息	825
受取配当金	10, 599
補助金収入	13, 592
その他	34, 616
営業外収益合計	59, 633
営業外費用	
支払利息	59, 437
過年度退職給付費用	23, 370
その他	
営業外費用合計	82, 836
経常損失(△)	△14, 180
特別利益	
貸倒引当金戻入額	3, 197
過年度損益修正益	2, 766
その他	231
特別利益合計	6, 195
特別損失	
固定資産除却損	23, 890
減損損失	635
その他	4, 174
特別損失合計	28,700
税金等調整前四半期純損失 (△)	△36, 685
法人税、住民税及び事業税	8, 591
法人税等調整額	86, 856
法人税等合計	95, 448
少数株主利益	<u>△429</u>
四半期純損失 (△)	△131, 703

# (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位:千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	(日 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	T 1/90101 0 74 00 117
税金等調整前四半期純損失 (△)	△36, 685
減価償却費	160, 309
減損損失	635
引当金の増減額 (△は減少)	$\triangle 61,902$
受取利息及び受取配当金	$\triangle 11,424$
支払利息及び社債利息	59, 437
固定資産除却損	23, 890
未払消費税等の増減額(△は減少)	44, 597
売上債権の増減額(△は増加)	234, 199
たな卸資産の増減額 (△は増加)	286, 181
仕入債務の増減額(△は減少)	△82, 277
その他の資産の増減額 (△は増加)	△26, 513
その他の負債の増減額 (△は減少)	△58, 968
その他	△8, 736
小計	522, 743
利息及び配当金の受取額	11, 424
利息の支払額	△61, 525
法人税等の支払額	△15,003
営業活動によるキャッシュ・フロー	457, 640
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△96, 586
有形固定資産の売却による収入	114
投資有価証券の取得による支出	△4, 404
貸付けによる支出	△950
貸付金の回収による収入	2, 056
定期預金の増減額(△は増加)	$\triangle 1,861$
その他	△400
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u></u> △102, 032
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△188, 333
長期借入れによる収入	400, 000
長期借入金の返済による支出	△154, 642
社債の償還による支出	△40, 000
配当金の支払額	△77
その他	△306
財務活動によるキャッシュ・フロー	16, 641
現金及び現金同等物に係る換算差額	
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	372, 249
現金及び現金同等物の期首残高	826, 778
現金及び現金同等物の四半期末残高	1, 199, 028

### 滝沢八ム㈱ (2293) 平成21年3月期 第2四半期決算短信

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## (4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日) 該当事項はありません。

### (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

当社グループの取り扱う製品等を種類・性質、製造方法、販売市場等の類似性に基づいて区分した結果、同一事業種類の売上高、営業損益及び資産の金額が、いずれも全セグメントの90%を超えていますので、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

### 【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日) 当社グループは、在外連結子会社及び在外支店がないため該当事項はありません。

#### 【海外売上高】

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日) 当社グループは、海外売上高がないため該当事項はありません。

### (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日) 該当事項はありません。